

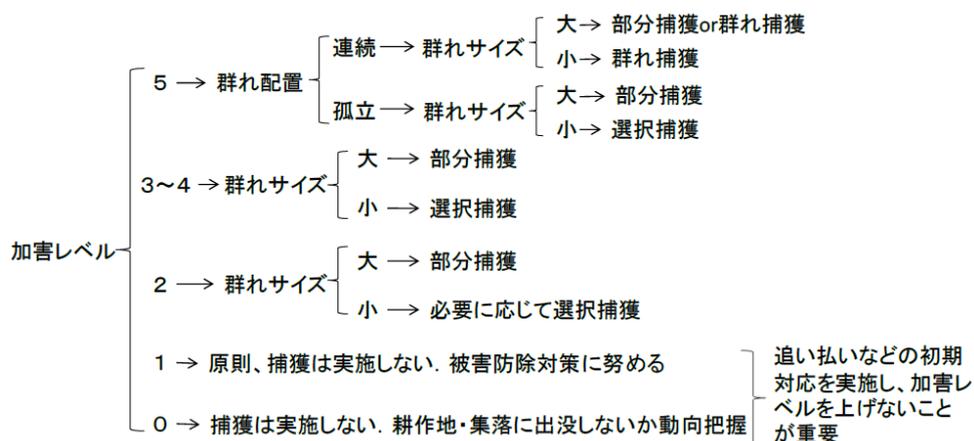
講義 5：捕獲オプション（選択捕獲）の実施と成果

株式会社野生動物保護管理事務所 関西分室

清野紘典

●捕獲オプションの選択

➢ 個体群の管理目標に向け、個体群の分布、群れの加害レベルと個体数の関係から捕獲オプションを選択します。捕獲方法は捕獲オプションを決めてから検討します。

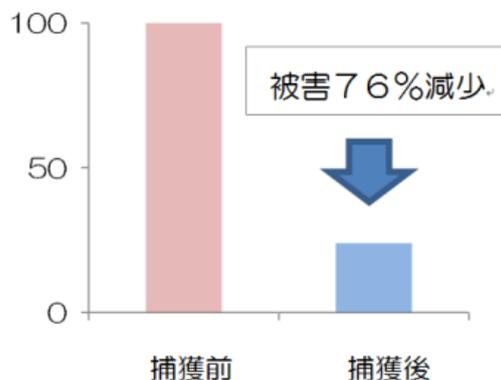
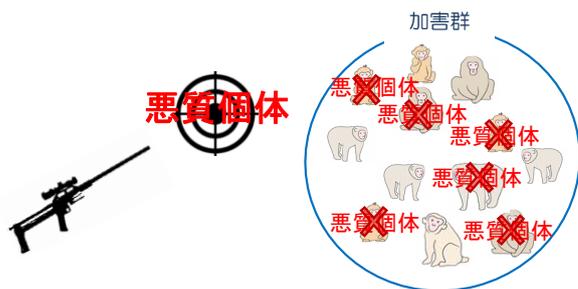


●選択捕獲とは

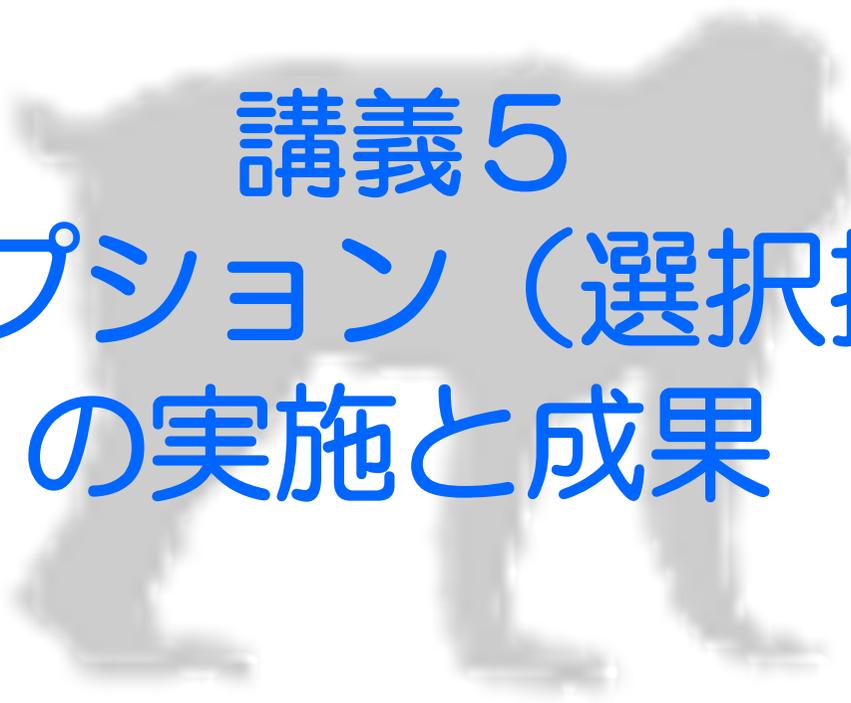
- 加害レベルが中～高で、群れサイズが比較的小さい群れを対象とします。
- 群れのなかの悪質個体を特定(個体識別)して選択的に銃器により捕獲します。
- 最小限の捕獲で加害レベルを効率的に低下させ、地域の被害対策を支援します。
- 群れの存続が前提であるため、孤立個体群の保全にも配慮した捕獲オプションです。
- 捕獲効率をあげるため、対象とする群れには事前に電波発信器の装着が必要です。
- 電波発信器による群れ追跡、悪質個体の特定、射撃技術など捕獲技術者の要件や人材確保、現状では一般的な有害鳥獣捕獲に対してコスト高といった課題があります。

●選択捕獲の成果

➢ 加害レベル4程度の約70頭の群れから悪質個体のみ3割を選択捕獲した結果、捕獲前後で被害が76%減少しました。



平成28年度 特定鳥獣の保護・管理に係わる研修会
＜上級編・ニホンザル＞



講義 5
捕獲オプション（選択捕獲）
の実施と成果

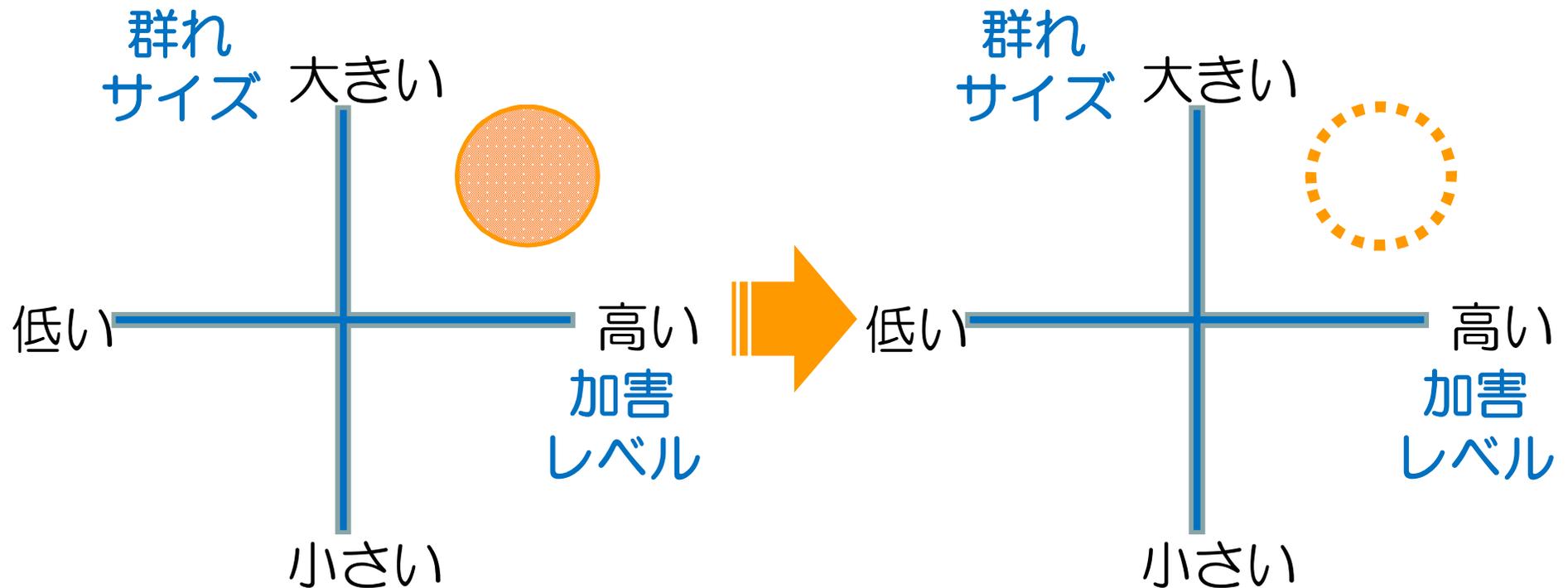
(株)野生動物保護管理事務所
上席研究員 清野紘典

計画的な個体数管理に向けて

- ✓ 管理目標を達成するため、個体群の分布、群れの加害レベルと個体数の関係から適切な捕獲オプションを選択
- ✓ 捕獲檻ありき、捕獲場所ありき、とにかく捕獲するのではなく、捕獲方法は捕獲オプションを選択してから決定する

捕獲オプションの特徴

群れ捕獲（全体捕獲）



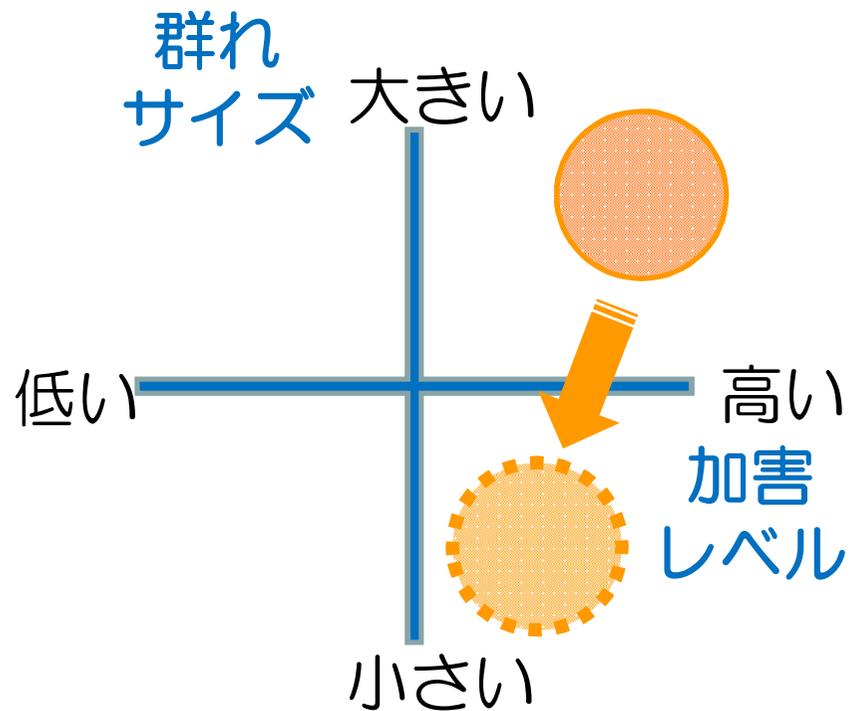
(注意点)

- 保全上の配慮
- 地域の合意形成
- 隣接群の進出防止
- 捕り残し

捕獲オプションの特徴

部分捕獲

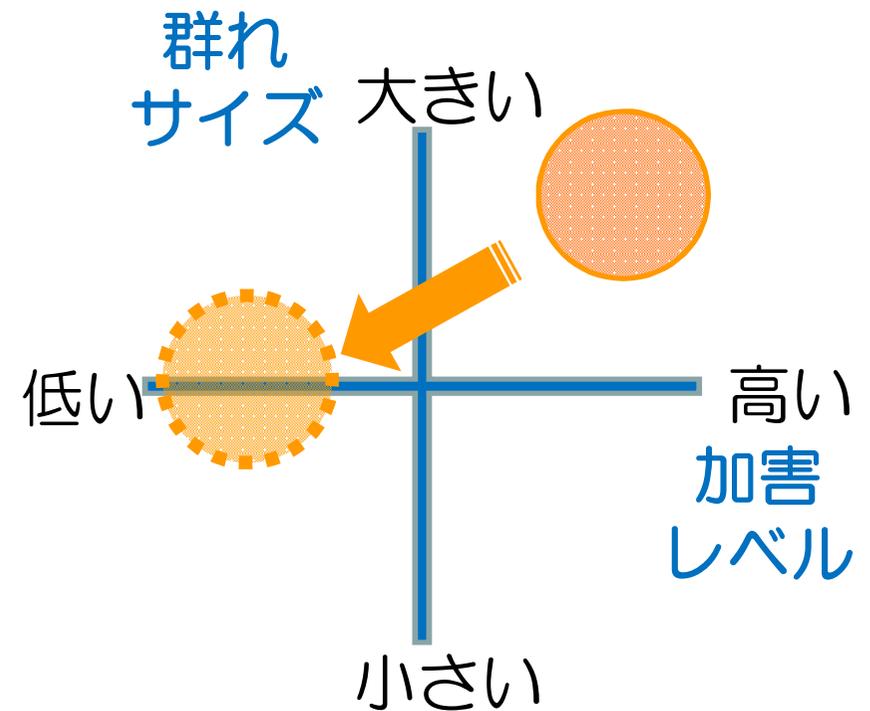
<非選択的>



(注意点)

- 被害管理強化
- 分裂/拡散
- 事後モニタリング

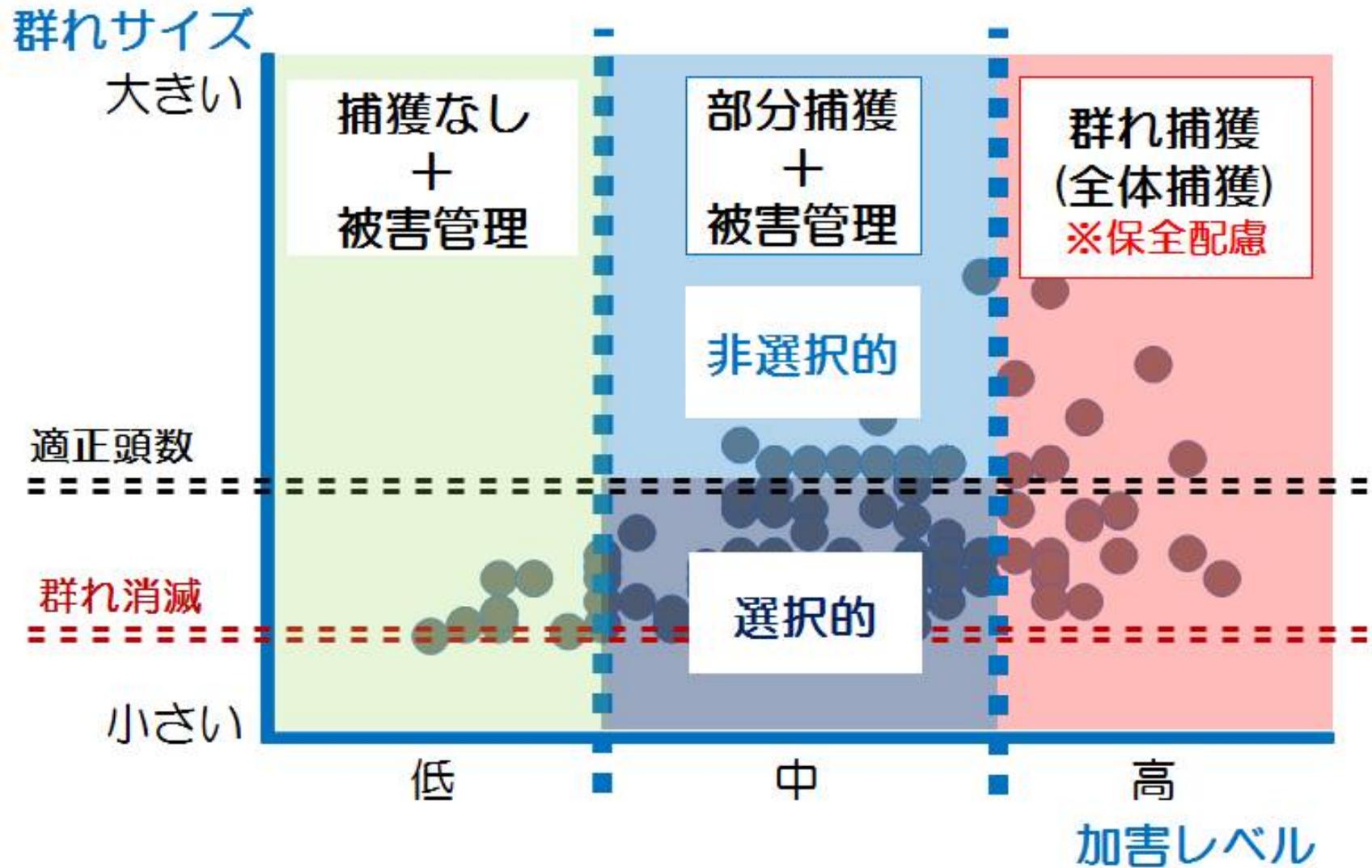
<選択的>



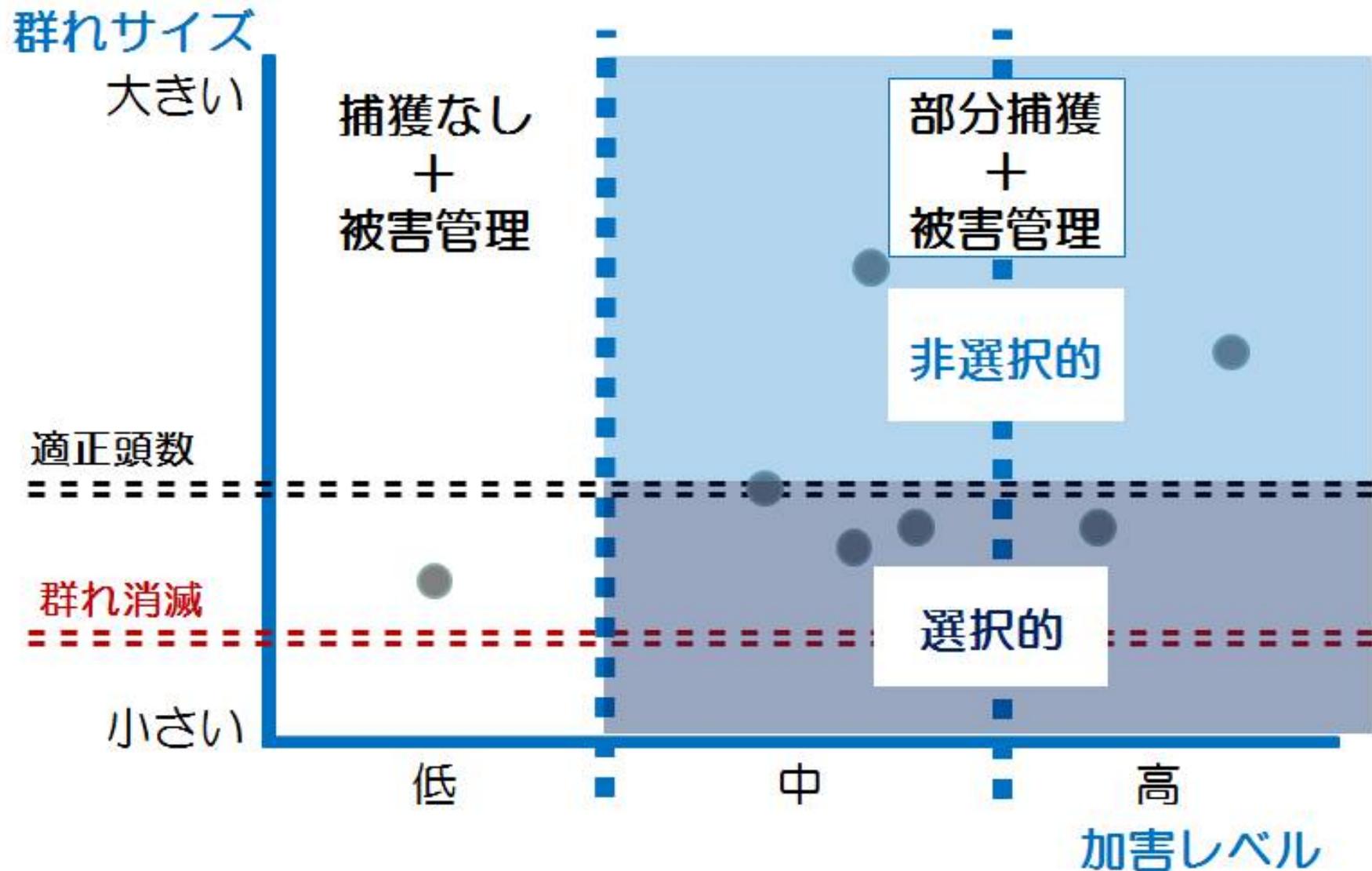
(注意点)

- 高コスト^{2~3倍}
- 高度な専門性
- 個体数の15%以上

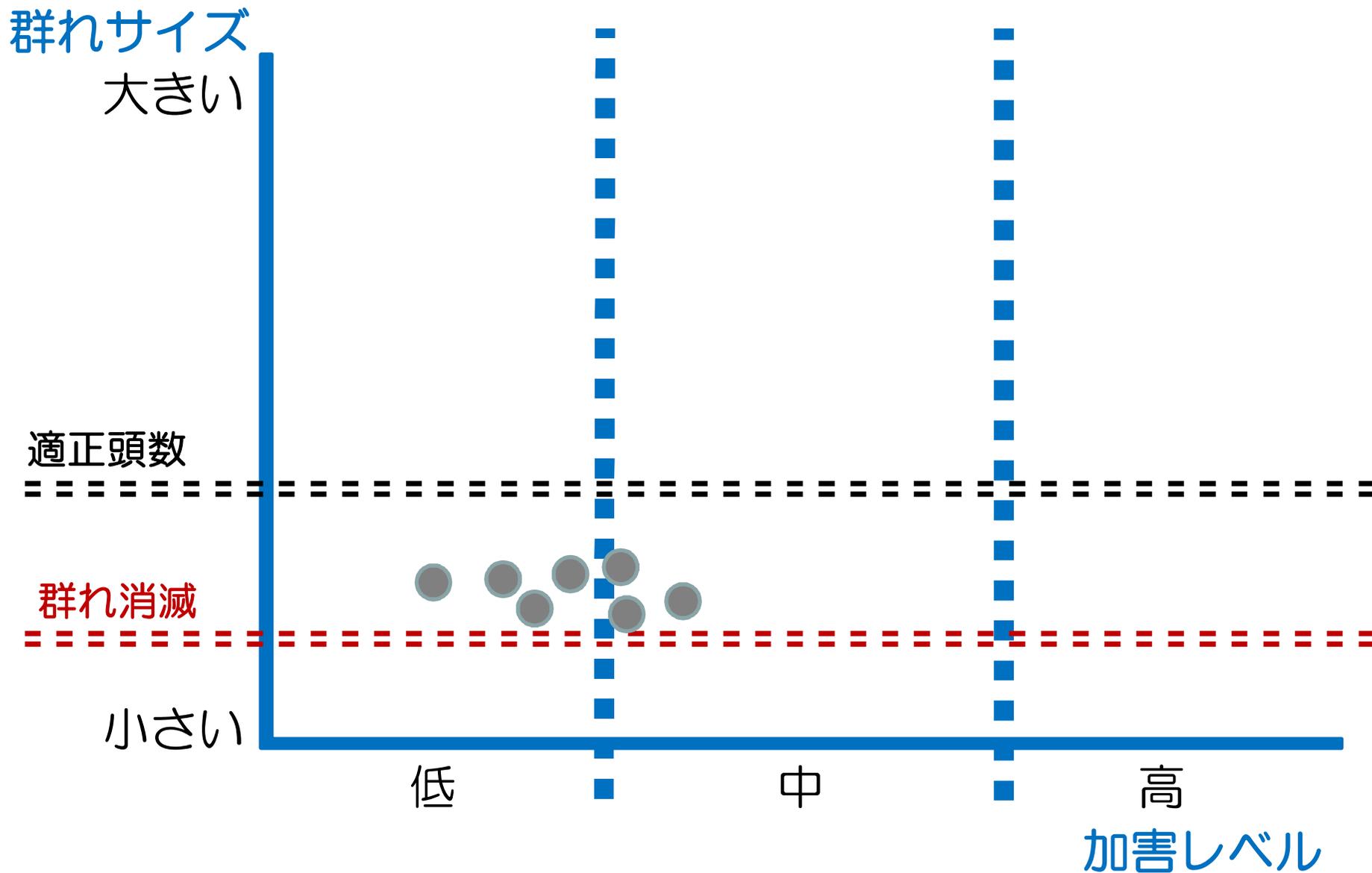
捕獲オプションの選択



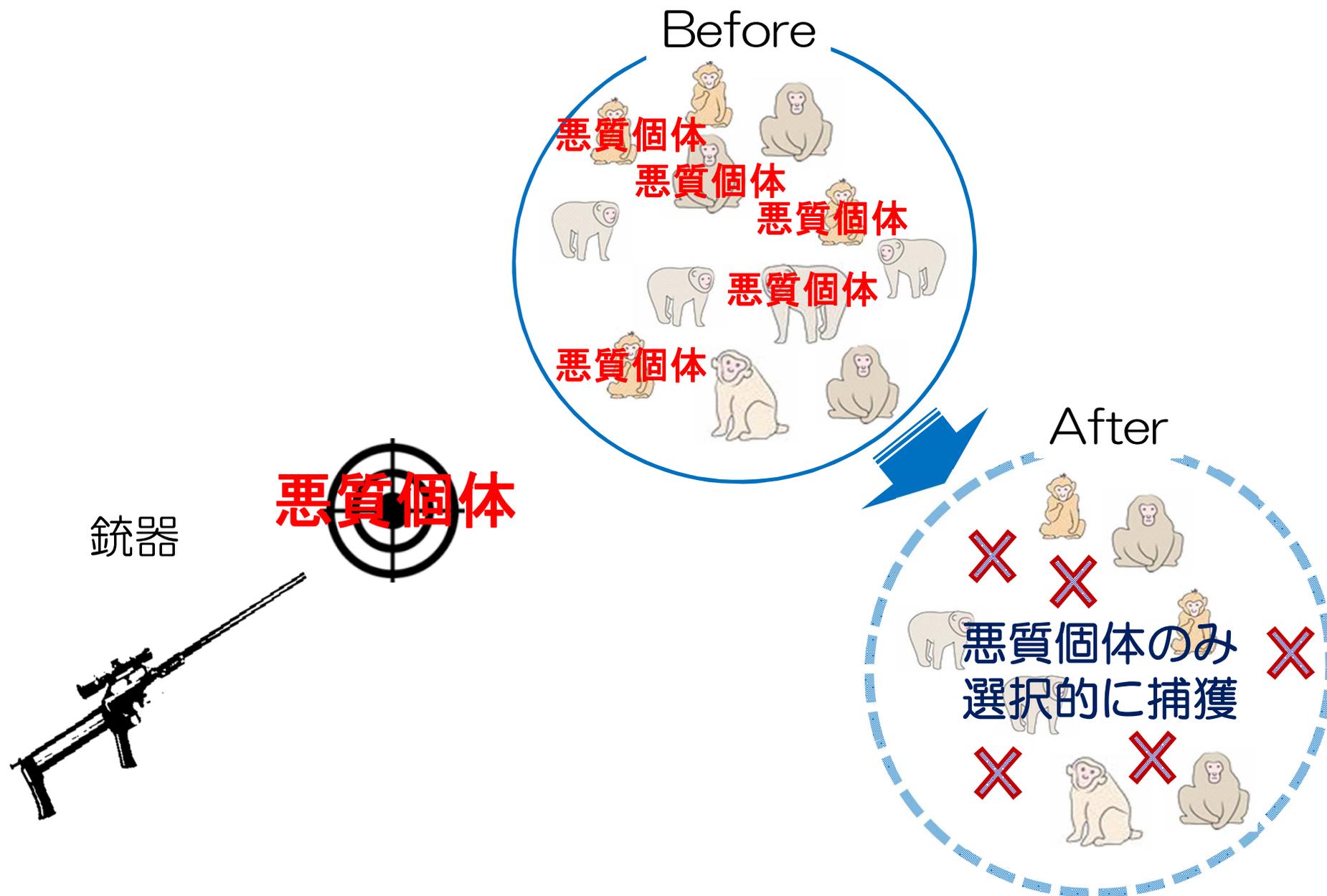
捕獲オプションの選択（孤立個体群）



捕獲オプションの選択（孤立個体群）



選択捕獲とは



選択捕獲とは

悪質個体とは？



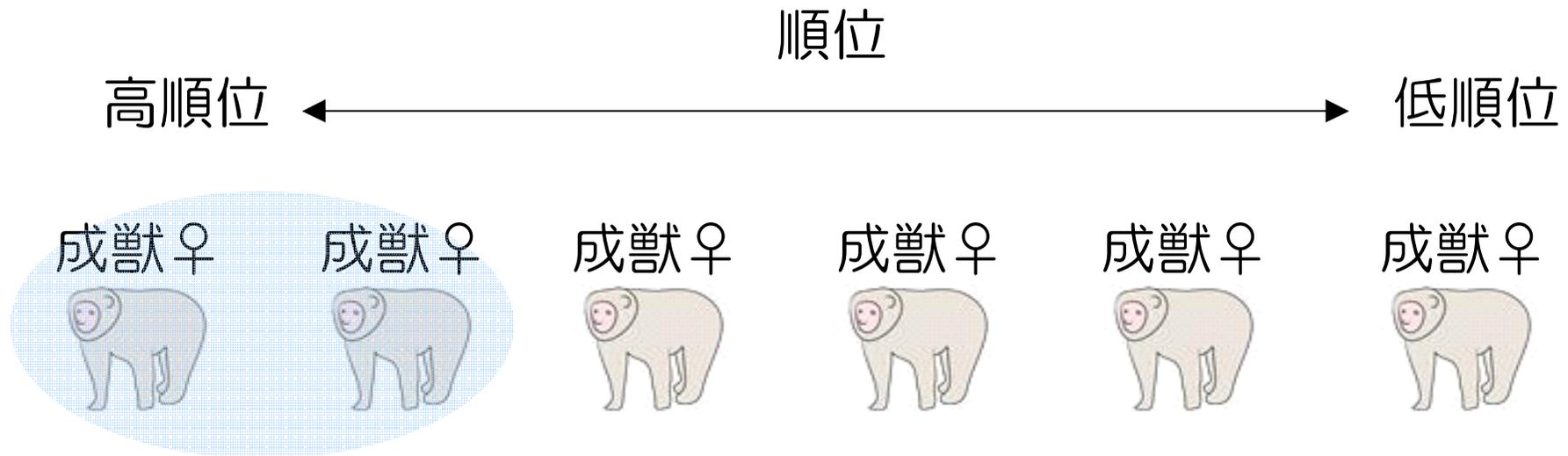
悪質個体 集落・農地に積極的に出没

悪質個体 農作物への依存性が高い

悪質個体 人への警戒心が低い/攻撃的

選択捕獲とは

捕獲による分裂を防止



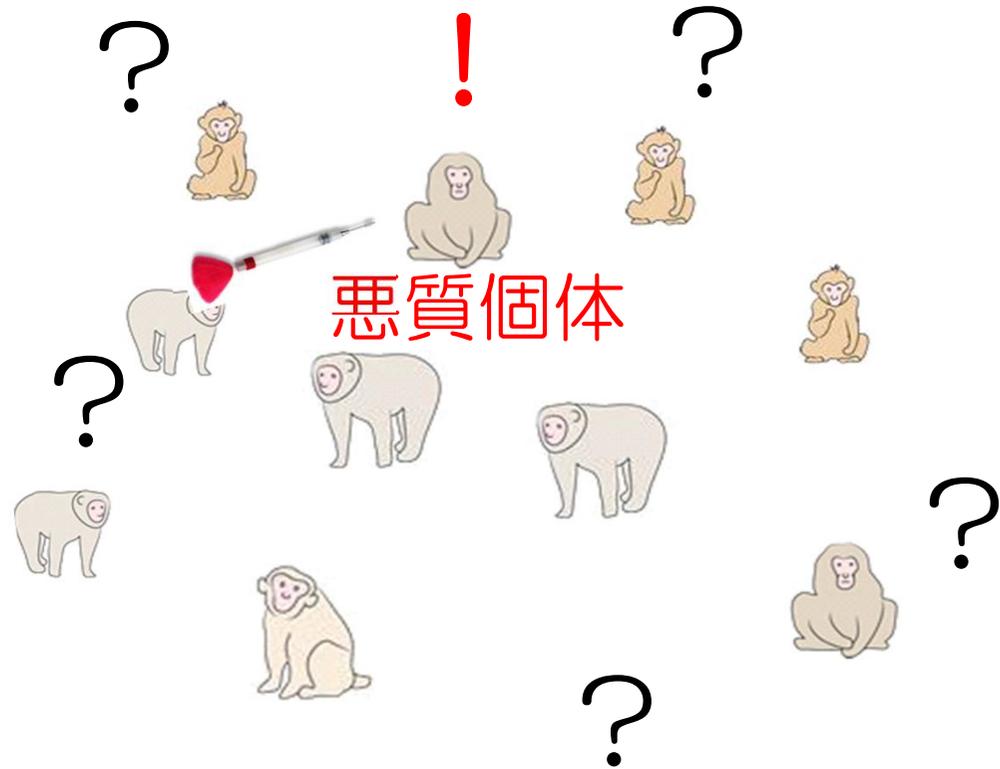
捕獲対象外



選択捕獲とは

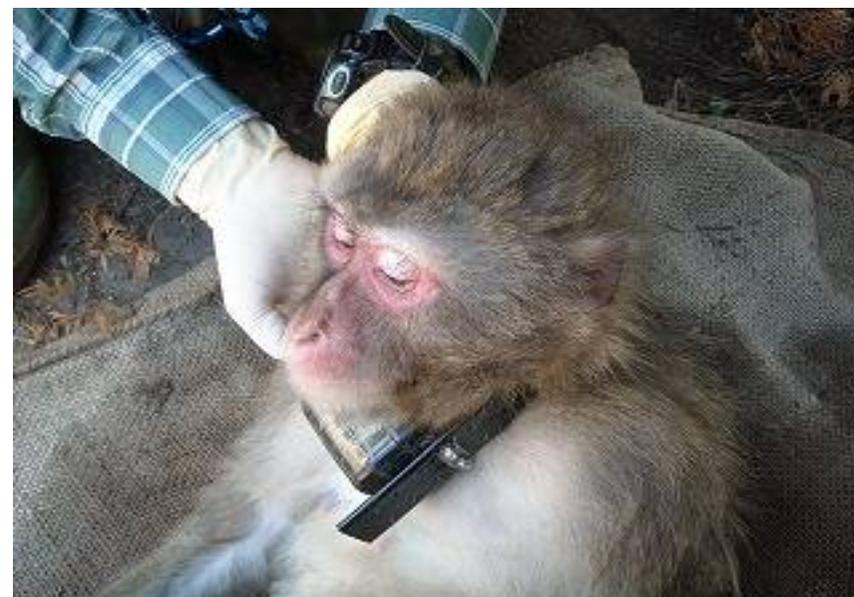
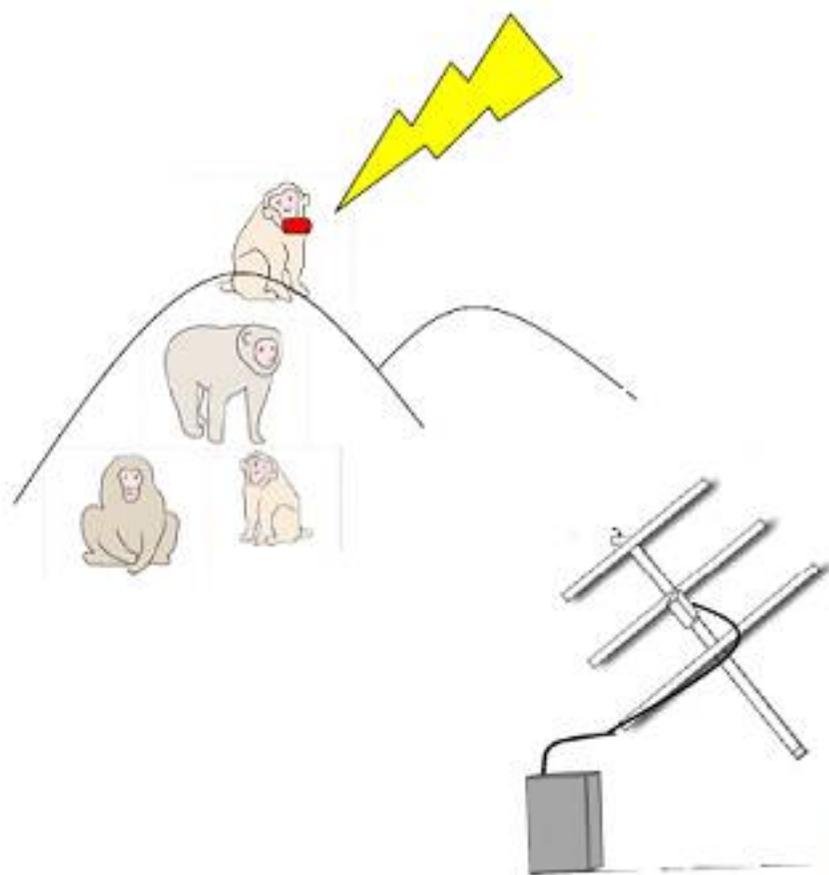
麻醉銃捕獲でスレを抑制

スレ防止



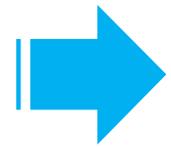
選択捕獲とは

対象群に電波発信器の装着が必要

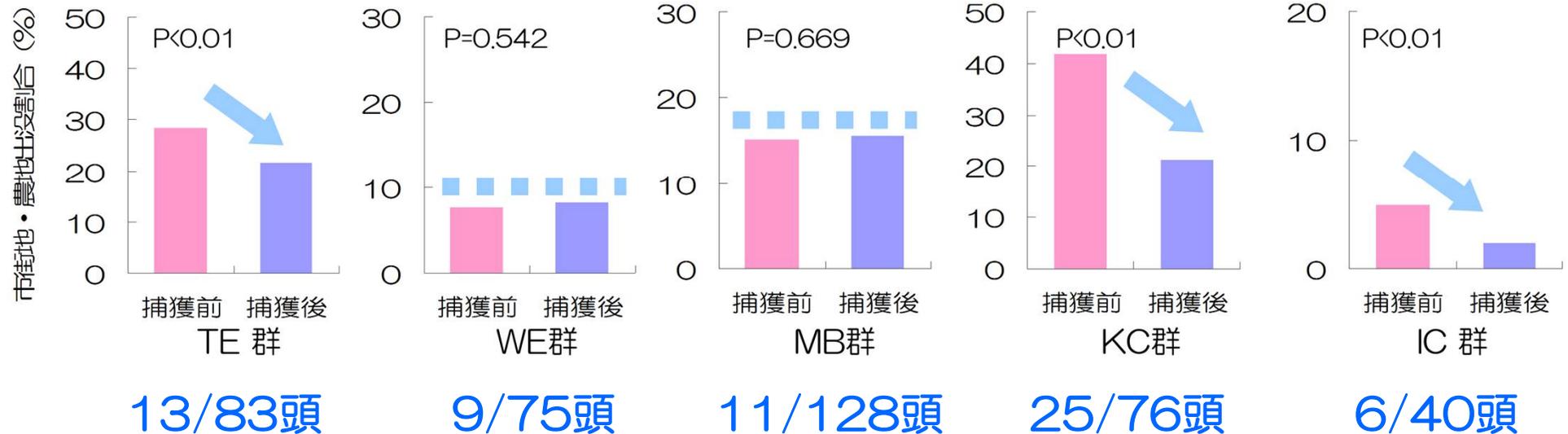


選択捕獲の効果

市街地・農耕地への出没



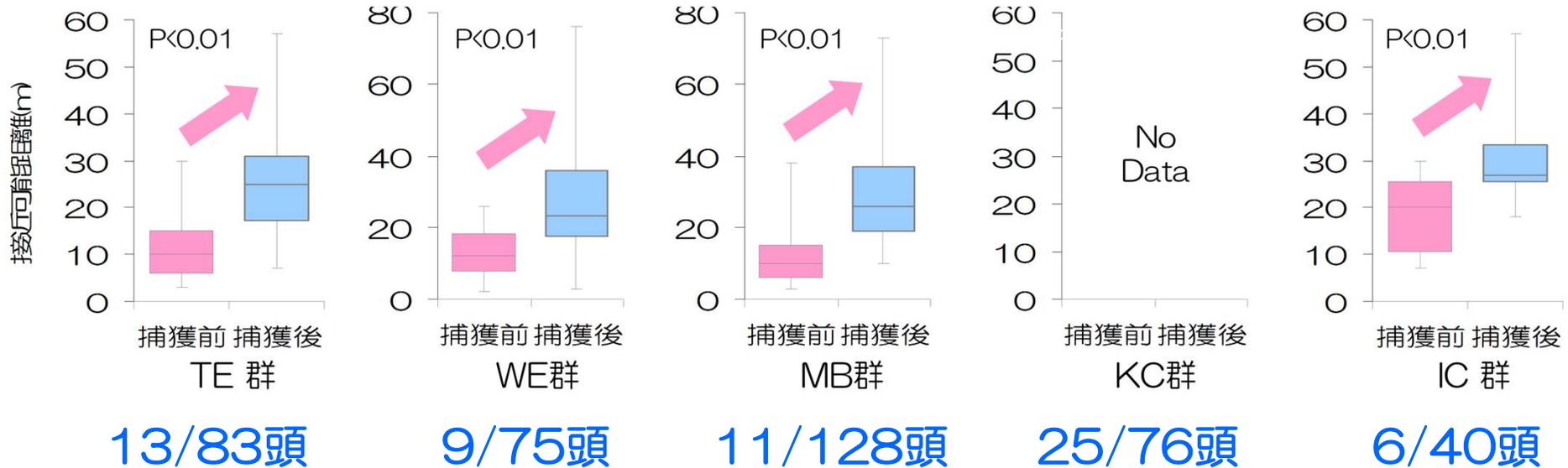
捕獲割合15%で出没低下



選択捕獲の効果

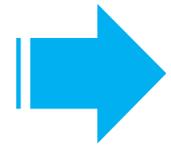
人へのなれ（接近可能距離）

→ すべての群れで改善



選択捕獲の効果

被害金額・面積



捕獲割合33%の群れで大幅低下

